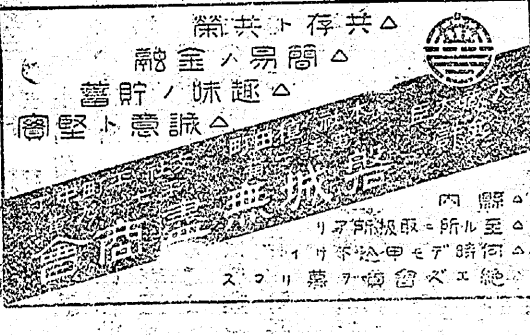


師範教師が 教員に亂暴

教育界不祥事
本縣女子師範教諭兼本縣操操科
視學委員佐藤寅太郎氏は去る二
十二日石城郡各小學校校標科訓
導の指導を行つた際石城郡内郷
村で同氏の勢をねざらふため内
郷館に慰勞會を催したところ同
氏は亂暴のはてさかんに暴言を
吐くので宮小學校校標科訓導が同
氏に注意を促した所噴つてかゝ
り遂に格闘を始めたのを同席の
高坂校訓導佐藤通氏が仲裁した
所佐藤氏は佐坂氏の頸部を毆打
した上胸部を突き飛ばしその場
に昏倒せしめたので同僚が同氏
の自宅に搬送込み平町高久醫師
を招いて應急手當を施したが、
佐坂氏は佐藤氏の取つた態度を
他まで糾弾して縣教育界の廓清
を期すべく醫師の診察書を添へ
て平署に告訴する事になつた。

碁界の名士 佐々木氏逝く

近々追善奉會
本邦棋界の人格者として知られ
てゐる佐々木逸太郎氏は既報の
如く過般來警城炭礦所副役員の
ため連日指導を續けてゐる内突
如發病し前後一十日間に亘つて
警城炭礦病院の醫務を受けたが
醫石効なく廿七日午前十時宛に
長逝した。同氏は十五年來石
城地方を遊歴し常に地方棋界の
ため盡瘁した人で最近病單まる
や郷里愛知縣に同年七十二歳の
老兄があるといふので同地に打
電したが今以て何等の回答もな
い始末で此外別に身寄りもな
ない。氏は同社の發給券課長



近 詠

詩痴車から
自動車は大地を走るにわが立
てし土煙りぬ大姿を消しぬ
乗る疾のわれにかはばりなし
とやら揺れのはげしく自動車
過ぎぬ
夕風にそよぐ葉の間に地に落
ちし萎元無花果のかそけき音
俄か雨打ちの強さは桐の葉を
つぎと地に投ぐるにも似
し
力得る術を聞きて吾にいつ
か入れけむに金魚皆亡し
備へたる刷毛にも似たる菊採
りてかにかく書きし受付の前

鳥御料理

うなぎ
蒲焼
平町南町平館隣り
電話四二四番

高久病院

内科・外科・耳鼻科
咽喉科・花柳病科
院長 高久 忠
平町電話一三三番

松村病院

内 科 專 門
婦 人 病 科
皮膚病科
電話七〇一

吉田眼科

平町紺屋町
電話六八番

加藤營業所

チクノール「鼻の薬」
平五 山野邊藥局

惠比壽講大賣出し

十二月一日ヨリ七日間
御婚禮支度 は是非 三井へ
七五三祝着
常に良品本位、價格低廉、東都今冬の流行品を豊富に取
揃へてあります。別して御婚禮御支度並に七五三祝着に
は特に力を入れました。是非御用命下さい。
一、金五圓以上御買上の方に景品呈上。
一、御贈答品には商品券を。
一、吉川用御引物反物特に廉價を以てお願ひ致します。
一、今秋流行のシヨール、富士絹友仙階上陳列
◎特價品 正絹縞八十五錢 裏地六十五錢 敷布五十錢
平町三丁目 三井呉服店
電話三八、七五一番

母のついで

吉例末年謝恩第一回特別大興行
中野英治・入江かた子・岡田時彦
日活現劇代本年度超特作映畫
松竹下加茂作品
新人阪東壽之助、千早晶子
若衆まよげ
希望に燃ゆる若者... 憧れ
の大江戸に... として悪
善の運命を争つて行く
果して彼は勝つ...?
日活特作映畫
主演 松本泰輔、川上彌生
白蛇と名なされる女性を
ぐる代官水木の戀... ほど
み行く彼の人生は...?
例年の通り入場料
普通席 金 十 錢
平 館

駒場株式会社

預金の賣買を致します
賣買の手續は無料で致します
平町 仲田町
電話四六五番

警城共濟病院組織

内 科 小兒科 (院長毎日診療)
院 長 醫學博士 難 波
副院長 醫學士 五十嵐 雄二
内 科 部長 醫學士 伊 吹 彪二
外 科 部長 醫學士 鈴木 憲
外科部長 醫學博士 鈴木 憲
毎日手術 醫學博士 鈴木 憲
産婦人科部長 醫學士 五十嵐 雄二
産婦人科部長 醫學士 五十嵐 雄二
顧問 醫學博士 川 添 正
X 光線科 難 波
主任 醫學博士 難 波
本院醫事法制監記法學士 岡 澤 忠
本院主事 賀 澤 忠
◎御大典記念事業トシテ
一衛生試驗所 (共濟病院内) 十一月一日ヨリ開始
一病氣相談所 (共濟病院内) 十二月一日ヨリ開始
一救 療 所 (共濟病院内) 十二月一日ヨリ開始
平 町 電話六四一 警 城 共 濟 病 院
◎入院自炊ノ便アリ (看護婦見習募集)

寒サ愈々迫ル

皆ツンノ御希望ス、新柄防寒具各種入荷
子供洋服 子供オーバー
婦人シヨール 婦人毛シヤツ
毛アンダー コットンシヤツ
壹圓均一ノ特價ワイシヤツ 賣切レス中ニ
平 町 電話四十 ツルヤ商店

二葉印刷所

平町 字 仲 町
電話七三四番